
詩を書いていた

只野飯陣

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

詩を書いてみた

【Nコード】

N8908Y

【作者名】

只野飯陣

【あらすじ】

たまに詩を投稿
自虐物ばかりです

クリスマス屋上（前書き）

昔、クリスマスに恋人に降られました

クリスマス屋上

スローイン スノーに

雪も積もりつまり動き出す物語り

ストーリー 素通り

気付かず傷付かず事など無いのに

結局僕は臆病だった

終局開く口とか屋上だった

本心隠して世間渡り

本格化して背蹴破り

本当は覚悟して言えたのに

癒えた傷ほじくり嘲笑い

痣洗い上げ揚げ足取られただ笑い

アゲイン陰らし部屋の隅での暮らし

クリスマスツリーに届かぬダイアリー

何時までたっても忘れられない 多勢な何時もの面子集まりファイバー

傷舐め合い築き上げ躊躇い

心にチクツと針の音

床トコトコ鳴らして歩く足跡 アートな季節にアツと気付きゃ独り

日取りを確認予定も無い ナイーブな俺様綻びを再度

何時までたっても傷心の最後

クリスマスⅡ誕生日（前書き）

クリスマスと誕生日が近いと子供は毎年ガツカリします。

クリスマスⅡ誕生日

プレゼントを貰えず店頭に並びいつまでも続く喧騒

くだらない理由で喧嘩腰「くださらないか」ってそれは俺も欲しい
何時までたつても祝われない

言われない言葉ハッピーバースデー

所詮はクリスマスより下

したがってつまりは無視したの？

タカリの気配りに従事する両親

のらりくらりとかわすそれは関心

気付いたら俺も大人になって

冬の誕生日も平気になって

気付いたら俺も大人になって

君の誕生日も蔑ろになって

寂しい気持ちひた隠し

暖かな空気に涙流し

いつしよくたになる誕生日

一生一緒のプレゼント

クタクタに疲れて直ぐ転倒

来年に期待エクステンション

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8908y/>

詩を書いてみた

2011年11月26日21時05分発行